

水産試験場港湾におけるスジエビ蛸集状況モニタリング結果

大山明彦

1. 目 的

琵琶湖産スジエビの減少原因究明と漁況予測につなげるため、湖岸で簡易なトラップを用いたモニタリング調査を実施した。

2. 方 法

平成 28 年 4 月 1 日から 7 月 6 日までのおよそ週 1 回の計 15 回、水産試験場港湾内の 3 か所に設置した箱型トラップを取り上げ、採捕されたスジエビを 50%の 2-プロパノールで固定後、計数した。あわせて、抱卵している雌の個体数を計数した。

3. 結 果

採捕結果を表に示す。調査期間中のスジエビの採捕尾数は、合計 2023 尾であり、うち抱卵している雌は 457 尾であった。期間中における採捕尾数の変動を図に示す。期間中のスジエビの採捕尾数は 4 月 5 月 6 月にピークを持つ多峰形を示したが、最大値は 5 月 20 日の 304 尾であり、それ以降減少傾向にあった。一方、抱卵雌のそれは単峰形であって、最大値は 6 月 3 日の 136 尾であった。

本調査結果と合わせて、平成 24 年から平成 27 年までのモニタリング調査におけるスジエビの採捕結果を図に示す。平成 24 年から平成 28 年までの調査期間中の採捕尾数の合計は、平成 24 年には 302 尾、同 25 年には 1208 尾、同 26 年には 3040 尾、同 27 年には 4573 尾と増加傾向にあったが、平成 28 年に入って減少し、同 27 年における総採捕尾数の約 44% となった。また、出現時期の傾向を見ると、平成 28 年は平成 26、27 年と同様に、4 月中旬から採捕尾数が伸びだしたが、5 月 20 日以降には減少傾向となり、先の 2 年で見られたような 6 月に最大値とならなかった。また、その値も平成 26 年は 639 尾、同 27 年は 481 尾

であり、平成 28 年の値は最大値においても先の 2 年より小さかった。

表 本調査でのスジエビ採捕尾数

採捕月日	採捕尾数(尾)	
	スジエビ	うち抱卵雌
4月1日	40	0
4月8日	56	0
4月15日	226	0
4月22日	16	0
4月27日	27	4
5月6日	95	15
5月11日	272	18
5月20日	304	30
5月27日	183	58
6月3日	265	136
6月9日	140	69
6月17日	198	79
6月23日	147	42
6月30日	53	6
7月6日	1	0
合計	2023	457

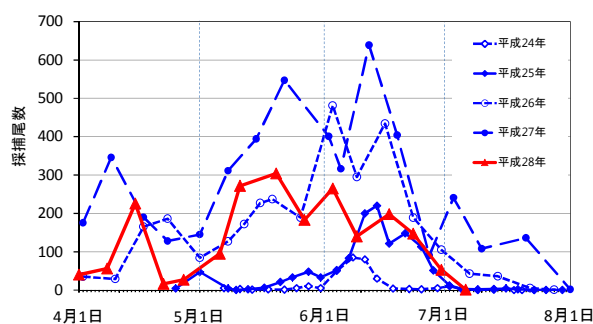


図 平成 24 年から平成 28 年までのモニタリング調査におけるスジエビの採捕結果